

論文概要の和文様式

雑誌におけるタイトル: Effect of the occupational environment of parents on cryptorchidism

和文タイトル: 両親の職業が停留精巣の発生に与える影響

ユニットセンター(UC)等名: 北海道UC

サブユニットセンター(SUC)名:

発表雑誌名: PEDIATRICS INTERNATIONAL

年: 2020 月: 5

巻:

頁:

筆頭著者名: 三井 貴彦

所属UC名: 北海道UC

目的:

停留精巣の発生と両親の職業との関連性について明らかにすることを目的とした。

方法:

エコチル調査に参加している男児51,316人について、父の職業、母の妊娠初期の職業、母の妊娠中の職業について14カテゴリーに分けて検討を行った。また、母の妊娠中の労働環境と停留精巣の発生についても検討を行った。

結果:

停留精巣は、対象となった51,316人の男児のうち305人(0.59%)で認められた。父の職業、母の妊娠初期の職業、母の妊娠中の職業について14カテゴリーに分けて検討を行ったが、停留精巣の発生に関連した職業はなかった。また、母の妊娠中の労働環境と停留精巣の発生に関連性はなかった。

考察:(研究の限界を含める)

以前の報告より、両親の職業やそれに伴う環境化学物質への曝露が停留精巣の発生に影響をあたえるという報告がある。しかし、本研究の結果からは両親の職業環境とは関連性を認めなかった。遺伝子など他の様々な因子の関与しているためと考えられた。

結論:

両親の職業環境は、停留精巣の発生に影響を与えないと考えられた。